

#### 4. お母様の食事等の状況

##### (1) 3月下旬～4月上旬の飲料水の摂取状況

- a. 水道水のみを飲んでいました
- b. 水道水とペットボトルの水の両方を飲んでいました
- c. ペットボトルの水のみを飲んでいました

##### (2) 3月下旬の食べ物の摂取状況

- a. 流通品のみを食べていた
- b. 流通品と自家用の両方を食べていた（自家用の品目：\_\_\_\_\_）
- c. 自家用のみを食べていた（自家用の品目：\_\_\_\_\_）

##### (3) 4月の食べ物の摂取状況

- a. 流通品のみを食べていた
- b. 流通品と自家用の両方を食べていた（自家用の品目：\_\_\_\_\_）
- c. 自家用のみを食べていた（自家用の品目：\_\_\_\_\_）

##### (4) 5月の食べ物の摂取状況

- a. 流通品のみを食べていた
- b. 流通品と自家用の両方を食べていた（自家用の品目：\_\_\_\_\_）
- c. 自家用のみを食べていた（自家用の品目：\_\_\_\_\_）

(5) この1週間で次の食べ物をだいたい何回くらい食べたり飲んだりしましたか。もっとも適当だと思う回答欄に各項目1つずつ○をしてください。

	毎日2回以上	毎日1回	週4～6回	週2～3回	週1回	週1回未満	飲まなかった・食べなかった
1 卵か肉か魚か納豆(卵1個くらいの大きさ)か、豆腐(卵2個くらいの大きさ)							
2 葉もの野菜(小鉢一杯程度)(付け合わせ程度のものは除く)							
3 根菜(いもは除く)(小鉢一杯程度)(付け合わせ程度のものは除く)							
4 果物(缶詰は除く)							
5 牛乳・ヨーグルト(コップ1杯程度)							
6 果物ジュース・野菜ジュース							
7 ごはん(雑炊を含む)・パン・めん類(インスタントを含む)・菓子パンなどの主食類							

※次のページにもお答えください。

5. お母様の生活の状況

1日にどのくらい屋外で過ごしますか。ここ2週間の平均的な様子をお答えください。

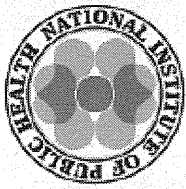
(1) 平日

- a. 1時間未満    b. 1～3時間未満    c. 3～6時間未満    d. 6時間以上

(2) 休日

- a. 1時間未満    b. 1～3時間未満    c. 3～6時間未満    d. 6時間以上

※これでおわりです。ありがとうございました。



## Press Release

報道関係者 各位

平成 23 年 6 月 7 日

【照会先】

TEL:048-458-6111(代表)

FAX:048-458-6270

国立保健医療科学院

生活環境研究部

櫻田 尚樹

### 母乳中の放射性物質濃度等に関する調査について

厚生労働科学研究費補助金・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故による母乳中の放射性物質濃度評価に関する調査研究」班が、母乳中の放射性物質濃度等の調査を行いました。結果は、108 人中 7 人から放射性セシウムが微量に検出されました。

【調査対象】 宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、高知県に在住する授乳婦に、産婦人科医を通じて協力依頼（調査研究は日本小児科学会、日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本医学放射線学会等のご協力のもと実施した）

【調査期間】 平成 23 年 5 月 18 日～6 月 3 日

【調査内容】

・母乳中の放射性ヨウ素（ $^{131}\text{I}$ ）、放射性セシウム（ $^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ ）の測定

（※）測定機関：国立保健医療科学院、（財）日本分析センター

測定法：ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー

・授乳状況、食事・行動等の基本情報の調査

【調査結果（別紙参照）】

今回の調査で、108 人（宮城県 10 人、山形県 12 人、福島県 21 人、茨城県 12 人、栃木県 15 人、群馬県 12 人、千葉県 14 人、高知県 12 人）の母乳中の放射性物質濃度は、101 人が不検出（検出下限値以下）であり、7 人（相馬市 3 人、いわき市 2 人、福島市 1 人、二本松市 1 人）より放射性セシウムを微量に検出した（詳細は別紙）。

【評価等】

- 調査対象者の 108 人中 101 人は不検出であった。
- 母乳中に放射性ヨウ素は、全員不検出（検出下限値以下）であった。これは環境中の放射性ヨウ素の低下によるものと考えられる。
- 母乳中の放射性セシウムは、福島県内の 7 人から微量に検出された。これは食品中の暫定規制値と比較しても十分に低値であり、乳児への健康影響リスクはないと考えられる。
- 授乳状況、食事、行動等の基本情報については、検出者と不検出者で特記すべき違いはなかった。

## <補足1>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故による母乳中の放射性物質濃度評価に関する調査研究組織

### ●研究代表者

櫻田 尚樹 国立保健医療科学院生活環境研究部長

### ●分担研究者(50音順)

池内 嘉宏	(財)日本分析センター理事
今村 定臣	日本産婦人科医会副会長
板橋 家頭夫	昭和大学医学部小児科学教授
海野 信也	北里大学医学部産婦人科学教授
大野 和子	京都医療科学大学医療科学部教授
久保 隆彦	成育医療研究センター産科医長
吉川 肇子	慶應義塾大学商学部教授
寺田 宙	国立保健医療科学院特命上席主任研究官
中村 好一	自治医科大学公衆衛生学・疫学教授
山口 一郎	国立保健医療科学院上席主任研究官

## <補足2>測定法等について

### ●分析方法について

放射性物質の中には $\gamma$ 線を放出するものがあります。放出される $\gamma$ 線はそれぞれの放射性物質に固有のもので、ゲルマニウム半導体検出器による $\gamma$ 線スペクトロメトリでは、この性質を利用して放射性物質の同定、定量を行います。

### ●測定結果の検出下限値が変動している理由

放射性物質の検出下限値は、一般的にはゲルマニウム半導体検出器の検出効率、検体量、測定時間などによります。本研究では測定時間は3時間に統一し、機器の検出効率もほぼ同様のため、検出下限値の変動は主に検体量(母乳量)の違いによるものです。母乳はその性質上、検体量を揃えることが困難なことから検体によって検出下限値が変動しました。

なお、牛の原乳や飲料水を測定した結果と今回の母乳の測定結果の検出下限値が異なる理由としては、母乳は検体量(今回は100ml程度で測定)が牛の原乳などの検体量(牛の原乳は1lあるいは2l程度で測定)に比べ少ないため、検出下限値は違ってきます。

## 母乳の放射性物質濃度等に関する調査結果

	現在の居住地	母乳の採取日	母乳の検査日	測定値(ベクレル/キログラム)			
				放射性ヨウ素 ( <sup>131</sup> I)	放射性セシウム ( <sup>134</sup> Cs)	放射性セシウム ( <sup>137</sup> Cs)	
1	宮城県	仙台市	2011/5/23	2011/5/24	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.9)
2			2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:1.7)
3			2011/5/25	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:1.7)
4			2011/5/26	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.5)	N.D.(検出下限値:2.1)
5		大河原町	2011/5/27	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:2.0)	N.D.(検出下限値:1.7)
6			2011/5/27	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.4)	N.D.(検出下限値:2.0)
7			2011/5/28	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:2.0)
8			2011/5/28	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:1.7)
9		気仙沼市	2011/5/27	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:2.5)	N.D.(検出下限値:1.7)
10			2011/5/31	2011/6/1	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:1.7)
11	山形県	山形市	2011/5/22	2011/5/23	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.0)	N.D.(検出下限値:1.8)
12			2011/5/24	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:1.9)
13			2011/5/24	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:1.7)
14			2011/5/28	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:1.9)
15		新庄市	2011/5/24	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.2)	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.4)
16			2011/5/25	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:1.9)
17		酒田市	2011/5/24	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.2)	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.7)
18			2011/5/25	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:1.6)
19		東置賜郡	2011/5/24	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:1.8)
20			2011/5/27	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:1.6)
21		米沢市	2011/5/28	2011/5/30	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:1.5)
22			2011/5/29	2011/5/30	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:1.8)
23	福島県	白河市	2011/5/23	2011/5/24	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:2.1)
24			2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.5)
25			2011/5/26	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:1.9)
26		いわき市	2011/5/23	2011/5/24	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.8)	1.9±0.53
27			2011/5/21	2011/5/24	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:1.3)
28			2011/5/23	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.6)	6.4±0.96	6.7±0.82
29		二本松市	2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:1.8)
30			2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.4)	N.D.(検出下限値:2.1)
31			2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.5)	2.0±0.52
32		福島市	2011/5/25	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.7)	3.9±0.69	5.7±0.70
33			2011/5/25	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.1)
34			2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.0)	N.D.(検出下限値:2.0)
35		郡山市	2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:1.9)
36			2011/5/26	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.3)	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.3)
37			2011/5/27	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:1.6)
38		会津若松市	2011/5/24	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.7)
39			2011/5/26	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.0)
40			2011/5/29	2011/5/30	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:1.5)
41		相馬市	2011/5/27	2011/6/1	N.D.(検出下限値:2.4)	N.D.(検出下限値:2.3)	2.5±0.67
42			2011/5/28	2011/6/1	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:2.5)	2.0±0.56
43			2011/5/29	2011/6/1	N.D.(検出下限値:1.5)	3.5±0.64	3.1±0.50

	現在の居住地	母乳の採取日	母乳の検査日	測定値(ベクレル/キログラム)				
				放射性ヨウ素 ( <sup>131</sup> I)	放射性セシウム ( <sup>134</sup> Cs)	放射性セシウム ( <sup>137</sup> Cs)		
44	茨城県	東海村	2011/5/23	2011/5/24	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:2.3)	
45			2011/5/24	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.8)	N.D.(検出下限値:2.4)	
46		大洗町	2011/5/23	2011/5/24	N.D.(検出下限値:2.6)	N.D.(検出下限値:3.6)	N.D.(検出下限値:3.1)	
47		日立市	2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:3.0)	
48		高萩市	2011/5/24	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:2.6)	
49		下妻市	2011/5/25	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:2.6)	N.D.(検出下限値:3.0)	
50		古河市	2011/5/25	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.3)	
51		北茨城市	2011/5/25	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:2.5)	
52		猿島郡境町	2011/5/26	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.3)	
53		守谷市	2011/5/26	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:3.0)	N.D.(検出下限値:2.6)	
54		取手市	2011/5/28	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:2.5)	N.D.(検出下限値:2.6)	
55			2011/5/29	2011/5/30	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.5)	N.D.(検出下限値:2.4)	
56		栃木県	宇都宮市	2011/5/22	2011/5/23	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.5)	N.D.(検出下限値:2.2)
57				2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:2.6)
58				2011/5/25	2011/5/28	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:2.4)	N.D.(検出下限値:2.4)
59	2011/5/26			2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.4)	N.D.(検出下限値:2.4)	
60	足利市		2011/5/23	2011/5/24	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.9)	N.D.(検出下限値:3.0)	
61	芳賀町		2011/5/23	2011/5/24	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.0)	N.D.(検出下限値:2.5)	
62	那須塩原市		2011/5/23	2011/5/24	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:2.3)	
63	栃木市		2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.8)	
64	佐野市		2011/5/25	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.4)	
65	那須郡那須町		2011/5/26	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:2.3)	
66	さくら市		2011/5/26	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.4)	
67	小山市		2011/5/28	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.3)	
68			2011/5/28	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:2.4)	
69	鹿沼市		2011/5/28	2011/5/30	N.D.(検出下限値:1.3)	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:2.1)	
70			2011/5/29	2011/5/30	N.D.(検出下限値:1.2)	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:1.8)	
71	群馬県	みどり市	2011/5/21	2011/5/23	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:2.7)	N.D.(検出下限値:2.4)	
72			2011/5/27	2011/5/28	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:3.5)	N.D.(検出下限値:3.3)	
73		太田市	2011/5/20	2011/5/23	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:2.4)	
74		高崎市	2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:2.5)	
75			2011/5/26	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.6)	N.D.(検出下限値:2.6)	
76		伊勢崎市	2011/5/24	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:2.4)	N.D.(検出下限値:2.5)	
77			2011/5/26	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.6)	N.D.(検出下限値:2.5)	
78		桐生市	2011/5/25	2011/5/27	N.D.(検出下限値:2.0)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.6)	
79		佐波郡玉村町	2011/5/27	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:2.1)	
80		沼田市	2011/5/28	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:2.4)	
81			2011/5/30	2011/5/31	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.4)	N.D.(検出下限値:2.6)	
82			2011/5/29	2011/5/31	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:2.4)	

	現在の居住地	母乳の採取日	母乳の検査日	測定値(ベクレル/キログラム)			
				放射性ヨウ素 ( <sup>131</sup> I)	放射性セシウム ( <sup>134</sup> Cs)	放射性セシウム ( <sup>137</sup> Cs)	
83	千葉県	市原市	2011/5/22	2011/5/23	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:1.9)
84			2011/5/23	2011/5/24	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.1)
85			2011/5/23	2011/5/24	N.D.(検出下限値:1.3)	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:1.5)
86		柏市	2011/5/23	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:1.8)
87			2011/5/24	2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:1.8)
88			2011/5/25	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.5)	N.D.(検出下限値:2.0)
89			2011/5/26	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:1.5)
90		旭市	2011/5/26	2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.2)	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.2)
91			2011/5/26	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:1.7)
92			2011/5/27	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:2.3)	N.D.(検出下限値:2.0)
93		松戸市	2011/5/26	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.4)	N.D.(検出下限値:2.0)
94			2011/5/28	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:1.9)
95			2011/5/27	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.0)	N.D.(検出下限値:1.5)
96			2011/5/29	2011/5/30	N.D.(検出下限値:1.3)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:2.0)
97		高知県	四万十市	2011/5/23	2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.3)
98	2011/5/23			2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.4)	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.5)
99	2011/5/23			2011/5/25	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:1.8)	N.D.(検出下限値:1.5)
100	2011/5/24			2011/5/26	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:2.4)	N.D.(検出下限値:2.0)
101	2011/5/25			2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:1.3)
102	2011/5/25		2011/5/27	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.2)	N.D.(検出下限値:1.8)	
103	高知市		2011/5/26	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:2.1)	N.D.(検出下限値:1.7)
104			2011/5/26	2011/5/28	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:2.4)	N.D.(検出下限値:1.9)
105			2011/5/27	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.2)
106			2011/5/27	2011/5/29	N.D.(検出下限値:1.5)	N.D.(検出下限値:1.7)	N.D.(検出下限値:1.9)
107			2011/5/28	2011/5/30	N.D.(検出下限値:1.6)	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:1.9)
108		2011/5/28	2011/5/30	N.D.(検出下限値:1.9)	N.D.(検出下限値:2.5)	N.D.(検出下限値:2.2)	

N.D.(検出下限値以下)

(注)母乳中の放射性物質濃度については、牛乳・乳製品の食品衛生法に基づく暫定規制値の取り扱いを踏まえて、以下の値を指標とした。

- ・放射性ヨウ素 100ベクレル/キログラム
- ・放射性セシウム 200ベクレル/キログラム

## 「母乳中放射性物質濃度等に関する調査」についてのQ&A

平成23年6月8日

先般、厚生労働科学補助金・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故による母乳中の放射性物質濃度評価に関する調査研究」班が公表いたしました「母乳中の放射性物質濃度等の調査」についての見解を以下のようにQ&Aとしてまとめました。今回の調査結果を考える上での参考にしていただければと存じます。

調査結果の概要については、以下のサイトをご参照下さい。

[http://www.niph.go.jp/soshiki/seikatsu/bonyuu\\_results.pdf](http://www.niph.go.jp/soshiki/seikatsu/bonyuu_results.pdf)

日本医学放射線学会  
日本産科婦人科学会  
日本産婦人科医会  
日本周産期・新生児医学会  
日本小児科学会  
日本放射線科専門医会・医会  
(50音順)

1. 調査対象となった母乳の一部から放射性物質が検出されていますが、なぜ、そのようなことがおきているのですか？

- 1-1 空気や水、食物中に存在する放射性物質が母体の体内に吸収され、それが母乳中に移行したと考えられます。
- 1-2 経口摂取した放射性ヨウ素、セシウムは、平均としてそれぞれ4割、3割程度が母乳に移行すると言われています<sup>1</sup>。
- 1-3 今回の調査では、複数の地域の108名の方から母乳の提供を受けて、放射性ヨウ素 (I-131)、放射性セシウム (Cs-134, Cs-137) の3種類の放射性同位体 (放射性物質) の測定を行いました。その結果、福島県

<sup>1</sup> ICRP Pub. 95



の方 21 名の中で、7 名の方から提供を受けた母乳から微量の放射性セシウムが検出されました<sup>2</sup>。

2. 以前の検査では検出された放射性ヨウ素はなぜ検出されなかったのですか？

○ 2-1 放射性ヨウ素は、尿などから排泄されるので、約 7 日で半分の量になります。

○ 2-2 放射性ヨウ素は物理学的半減期<sup>3</sup>が 8 日程度、有効半減期<sup>4</sup>が 7 日程度と短いため、新たな吸収がなければ、体内で時間と共に急速に減少し、検出下限値以下になると考えられます。

3. なぜ福島県の方の母乳からだけ、放射性セシウムが検出されたのですか。

○ 3-1 福島県の方の一部の母乳でだけ検出された理由は、これらの方の経口摂取または吸入摂取量が他の方よりも少し多かったからではないかと推定されます。

○ 3-2 放射性セシウム (Cs) の物理学的半減期は Cs-134 で 2 年、

<sup>2</sup>放射性物質が検出されるかどうかは、検出の方法に依存します。感度の高い測定を行えば、より少ない量でも検出できます。今回の事故前に、感度の高い測定によって数ミリ Bq/L 程度の放射性セシウムが水道水から検出されたことがありました。

<sup>3</sup>物理学的半減期とは、放射性物質の量が半分になる期間のことです。放射性物質はその種類ごとに物理的な性質が異なり、物理学的半減期も異なります。

<sup>4</sup>物理学的半減期だけではなく、体内に入った放射性物質が排出される割合（生物学的半減期として表現されます。）も計算に入れた、体内の放射性物質が半分になる期間のことです。生物学的半減期は個人差がありますが、ここでは 40 日として計算しています。

([http://www.rist.or.jp/atomica/data/dat\\_detail.php?Title\\_No=09-03-03-05](http://www.rist.or.jp/atomica/data/dat_detail.php?Title_No=09-03-03-05))

Cs-137で30年、有効半減期は成人で80-100日、小児で40-50日とされています。このため数ヶ月程度の期間では減衰が少ないこと、及び食品等からの少量の摂取がありうることから、放射性ヨウ素が検出されなくなっても、放射性セシウムが検出される検体があるのだと考えられます。

4. 今回の調査で検出された程度の放射性物質が母乳中に検出されている方も、授乳を続けることができますか？

○ 4-1 今回検出された放射性物質は「微量」です。この程度の濃度であれば、通常の授乳期間、授乳を続けても、お子さんの健康に影響することはありません。

○ 4-2 今回の調査で検出された放射性セシウムは高い人で Cs-134 が 6.4 ベクレル<sup>5</sup>/kg ,Cs-137 が 6.7 ベクレル/kg でした。母乳中の放射性セシウム 134,137 の濃度がそれぞれ 10 ベクレル/kg の母乳を毎日 800g、1年にわたって摂取した場合を考えると、セシウム 134,137 の摂取量はそれぞれ 2,920 ベクレルとなります。それによる線量の増加は約 0.14 ミリシーベルト (Sv) と推計されます<sup>6</sup>。放射性セシウムの飲食物としての摂取限度値は実効線量<sup>7</sup>として 5 ミリ Sv/年とされていますので、その線量の 30 分の 1 以下ということになります。

○ 4-3 母乳には、栄養面をはじめとして感染防御等人工栄養には見られない様々な利点があります。今回の調査で放射性セシウムが母乳中に検出された方についても、引き続き、普段通りの生活を行っていただいで問題ないと考えます<sup>8</sup>。検出されなかった他の地域の方については、当然授乳に問題はありません。

<sup>5</sup> ベクレル。放射性物質の量の単位。放射性物質は壊変時に放射線を出すので、単位時間当たりの壊変数が放射性物質の単位として用いられています。

<sup>6</sup>原子力安全委員会。飲食物摂取制限に関する指標について（平成 10 年 3 月 6 日）に示されている乳児の単位経口摂取あたりの実効線量換算係数を用いた場合の計算です。この指標では、Cs-134:  $2.60 \times 10^{-5}$  [mSv/Bq], Cs-137:  $2.10 \times 10^{-5}$  [mSv/Bq]とされています。

<sup>7</sup>各臓器が受けた線量を統合したもの。統合するときには組織加重係数を用います。組織加重係数は、仮想的な標準人に対して与えられているものです。

<sup>8</sup> リスクがあまりに小さいので実質的に無視できると専門家は考えています。

## 母乳中の放射性物質の問題で心配されているお母さん方へ

私たちが生活している空間や土壌には天然自然の放射線や放射性物質がたくさんあります。しかし学校教育ではそのようなことを教わる機会はなく、ほとんどの方はそのようなことを意識しないで生活されていると思います。今になって、あらゆる食べ物や、人の体内に放射性物質があると言われても、受け入れられないお母さんも多いと思います。また、今回は原発事故災害による放射性物質が余分に身体に入ってしまったのですから、同じ放射性物質であっても、本当に残念に思う気持ちは当然のことであり、その気持ちは私たち医師も全く同じです。

でも、今回の基準値以下の放射線量は、あなたや、あなたの大切なお子さんの健康に悪影響を及ぼす放射線量よりもはるかに少量です。そして、このわずかな放射線量よりも、母乳に含まれる様々な子どもの成長に役立つ成分のほうが、はるかにお子さんの成長にとって重要であることをご理解いただければと思います。

以上

平成23年4月に厚生労働省が実施した調査結果等  
(測定は国立保健医療科学院)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001azxj.html>

平成23年4月30日

雇用均等・児童家庭局母子保健課

課長補佐 山本 圭子 (7933)

課長補佐 馬場 征一 (7939)

報道関係者各位

## 母乳の放射性物質濃度等に関する調査について

この調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故に関連して、母乳中の放射性物質濃度の状況を把握することを目的として、緊急に実施したものです。

### 【調査対象】

福島県・関東地方の乳児を持つ授乳婦で、以下の条件に合致した方に産婦人科医等を通じて協力依頼

- ・ 避難指示等地域、出荷制限等が行われた飲食物の産地、水道の飲用を控えるよう依頼が行われた地域に居住または居住していた
- ・ 避難指示や摂取制限等の行動に関する指示を守っている

### 【調査期間】

平成 23 年 4 月 24 日～28 日

### 【調査内容】

・ 母乳中の放射性ヨウ素（ $^{131}\text{I}$ ）、放射性セシウム（ $^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ ）の測定(※)

測定機関：国立保健医療科学院

測定法：ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー

- ・ 授乳状況、食事・行動等の基本情報の調査

### 【調査結果（別紙参照）】

今回の調査で、23名（福島県4名、茨城県9名、千葉県2名、埼玉県1名、東京都7名）の母乳中の放射性物質濃度は不検出（検出下限以下）又は微量（※）の検出であった。

（※）牛乳・乳製品の食品衛生法に基づく暫定規制値の取扱いを踏まえて、放射性ヨウ素は100ベクレル/キログラム、放射性セシウムは200ベクレル/キログラムを指標とした。

### 【評価】

- 調査数や地域が限られているものの、今回の調査では、母乳から放射性物質は不検出又は微量の検出であった。
- 放射性物質については、必要な場合には、避難指示や飲食物の摂取制限等の対応が行われており、空気や水、食物から母乳に放射性物質が移行したとしても、乳児への健康影響はないと考えられる。
- 母乳には栄養面等で様々な利点があることから、授乳中の方についても、過度な心配はせず、引き続き、普段どおりの生活を行っていただいで問題ない。

## 母乳の放射性物質濃度等に関する調査結果

	現在の居住地		母乳の採取日	測定値(ベクレル/キログラム)			備考
				放射性ヨウ素 ( <sup>131</sup> I)	放射性セシウム ( <sup>134</sup> Cs)	放射性セシウム ( <sup>137</sup> Cs)	
1	福島県	福島市	2011/4/25	ND (検出下限値:1.7)	ND (検出下限値:1.9)	ND (検出下限値:2.3)	
2		郡山市	2011/4/25	ND (検出下限値:1.8)	ND (検出下限値:2.4)	ND (検出下限値:2.4)	
3		相馬郡	2011/4/25	ND (検出下限値:2.0)	ND (検出下限値:3.2)	ND (検出下限値:2.8)	
4		いわき市	2011/4/25	3.5	ND (検出下限値:2.2)	2.4	3/11-14は30km圏内に住んでいた
5	茨城県	ひたちなか市	2011/4/25	ND (検出下限値:2.1)	ND (検出下限値:2.8)	ND (検出下限値:2.9)	
6		常陸大宮市	2011/4/25	3.0	ND (検出下限値:4.2)	ND (検出下限値:3.1)	
7		水戸市	2011/4/25	8.0	ND (検出下限値:3.0)	ND (検出下限値:3.0)	
8		結城市	2011/4/24	ND (検出下限値:2.0)	ND (検出下限値:2.6)	ND (検出下限値:2.3)	
9		下妻市	2011/4/25	2.2	ND (検出下限値:2.7)	ND (検出下限値:2.8)	
10		笠間市	2011/4/24	2.3	ND (検出下限値:2.4)	ND (検出下限値:2.7)	
11		笠間市	2011/4/25	2.3	ND (検出下限値:3.4)	ND (検出下限値:2.6)	
12		笠間市	2011/4/25	ND (検出下限値:2.1)	ND (検出下限値:2.8)	ND (検出下限値:2.7)	
13		那珂市	2011/4/25	ND (検出下限値:2.7)	ND (検出下限値:3.1)	ND (検出下限値:3.0)	
14	千葉県	千葉市	2011/4/25	ND (検出下限値:3.6)	ND (検出下限値:4.6)	ND (検出下限値:3.4)	
15		千葉市	2011/4/25	2.3	ND (検出下限値:2.8)	ND (検出下限値:2.6)	
16	埼玉県	越谷市	2011/4/24	ND (検出下限値:1.9)	ND (検出下限値:2.1)	ND (検出下限値:2.1)	
17	東京都	杉並区	2011/4/24	ND (検出下限値:1.8)	ND (検出下限値:2.2)	ND (検出下限値:1.9)	
18		世田谷区	2011/4/25	ND (検出下限値:2.3)	ND (検出下限値:3.9)	ND (検出下限値:2.9)	
19		中野区	2011/4/25	ND (検出下限値:2.8)	ND (検出下限値:2.7)	ND (検出下限値:2.8)	
20		武蔵野市	2011/4/25	ND (検出下限値:2.4)	ND (検出下限値:2.8)	ND (検出下限値:2.7)	
21		中野区	2011/4/25	ND (検出下限値:6.5)	ND (検出下限値:7.2)	ND (検出下限値:7.0)	
22		江戸川区	2011/4/24	ND (検出下限値:1.6)	ND (検出下限値:1.8)	ND (検出下限値:1.9)	
23		文京区	2011/4/25	ND (検出下限値:2.6)	ND (検出下限値:3.7)	ND (検出下限値:3.0)	

ND=不検出(検出下限以下)

(注)母乳の放射性物質濃度については、牛乳・乳製品の食品衛生法に基づく暫定規制値の取り扱いを踏まえて、以下の値を指標とした。

- ・放射性ヨウ素 100ベクレル/キログラム
- ・放射性セシウム 200ベクレル/キログラム

報道関係者 各位

平成 23 年 5 月 17 日

【照会先】

雇用均等・児童家庭局母子保健課

課長補佐 山本 圭子(内線 7933)

課長補佐 馬場 征一(内線 7939)

(代表電話) 03 (5253) 1111

(直通電話) 03 (3595) 2544

### 母乳の放射性物質濃度等に関する追加調査について

厚生労働省はこのほど、平成23年4月末に当省が実施した母乳中の放射性物質濃度等に関する緊急調査で、微量の放射性物質が検出された7人について、再測定を行いました。結果は7人とも、不検出（検出下限以下）でした。

#### 【調査対象】

平成 23 年 4 月末の母乳中の放射性物質濃度等に関する緊急調査で、母乳から微量の放射性物質が検出された授乳婦（7人）のうち、再測定を希望される方

【調査期間】 平成 23 年 5 月 6 日～16 日

#### 【調査内容】

・母乳中の放射性ヨウ素（ $^{131}\text{I}$ ）、放射性セシウム（ $^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ ）の測定

（※）測定機関：国立保健医療科学院

測定法：ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー

・授乳状況、食事・行動等の基本情報の調査

#### 【調査結果（別紙参照）】

平成23年4月末の母乳中の放射性物質濃度等に関する緊急調査で、母乳から微量の放射性物質が検出された授乳婦全員（7人）が再測定を希望した。

今回の追加調査で、7人（福島県1人、茨城県5人、千葉県1人）の母乳中の放射性物質濃度は不検出（検出下限以下）だった。

#### 【評価等】

- 今回の追加調査では、母乳から放射性物質は不検出（検出下限以下）だった。
- 放射性物質については、必要な場合には、避難指示や飲食物の摂取制限等の対応が行われており、空気や水、食物から母乳に放射性物質が移行したとしても、乳児への健康影響はないと考えられる。
- 母乳には栄養面等で様々な利点があることから、授乳中の方についても、過度な心配はせず、引き続き、普段どおりの生活を行っていただいて問題ない。
- 母乳中の放射性物質については、今後も調査を行う予定（厚生労働科学研究）。

## 母乳の放射性物質濃度等に関する追加調査結果

## &lt;今回&gt;

	現在の居住地		母乳の採取日	追加測定値(ベクレル/キログラム)			備考
				放射性ヨウ素 ( <sup>131</sup> I)	放射性セシウム ( <sup>134</sup> Cs)	放射性セシウム ( <sup>137</sup> Cs)	
1	福島県	いわき市	2011/5/8	ND (検出下限値:1.0)	ND (検出下限値:1.9)	ND (検出下限値:1.9)	3/11-14は20~30km圏内に住んでいた
2		常陸大宮市	2011/5/9	ND (検出下限値:1.3)	ND (検出下限値:2.0)	ND (検出下限値:2.1)	
3		水戸市	2011/5/9	ND (検出下限値:1.2)	ND (検出下限値:2.0)	ND (検出下限値:1.9)	自家用野菜(ほうれん草・小松菜)を食べていた
4	茨城県	下妻市	2011/5/15	ND (検出下限値:1.1)	ND (検出下限値:1.8)	ND (検出下限値:1.9)	
5		笠間市	2011/5/8	ND (検出下限値:1.3)	ND (検出下限値:2.0)	ND (検出下限値:2.0)	
6		笠間市	2011/5/8	ND (検出下限値:1.4)	ND (検出下限値:2.2)	ND (検出下限値:2.3)	自家用野菜(タケノコ)を食べていた。
7	千葉県	千葉市	2011/5/9	ND (検出下限値:1.4)	ND (検出下限値:2.1)	ND (検出下限値:2.2)	

## &lt;前回&gt;

母乳の採取日	初回測定値(ベクレル/キログラム)		
	放射性ヨウ素 ( <sup>131</sup> I)	放射性セシウム ( <sup>134</sup> Cs)	放射性セシウム ( <sup>137</sup> Cs)
2011/4/25	3.5	ND (検出下限値:2.2)	2.4
2011/4/25	3.0	ND (検出下限値:4.2)	ND (検出下限値:3.1)
2011/4/25	8.0	ND (検出下限値:3.0)	ND (検出下限値:3.0)
2011/4/25	2.2	ND (検出下限値:2.7)	ND (検出下限値:2.8)
2011/4/24	2.3	ND (検出下限値:2.4)	ND (検出下限値:2.7)
2011/4/25	2.3	ND (検出下限値:3.4)	ND (検出下限値:2.6)
2011/4/25	2.3	ND (検出下限値:2.8)	ND (検出下限値:2.6)

ND=不検出(検出下限以下)

(注)母乳の放射性物質濃度については、牛乳・乳製品の食品衛生法に基づく暫定規制値の取り扱いを踏まえて、以下の値を指標とした。

- ・放射性ヨウ素 100ベクレル/キログラム
- ・放射性セシウム 200ベクレル/キログラム



福島第一原発の事故後、食品の放射性物質の検査は約4000件実施され、約3000件で暫定規制値を超えた。現状などを国立保健医療科学院の榊田尚樹生活環境研究部長に聞いた。

事故後、主に大気中に放出された放射性物質が付着した影響で葉物野菜を中心に規制値を超える放射性ヨウ素が検出され、政府が出荷・摂取制限を実施した。  
次第に放射線を出す能力が半分になる半減期が短い同ヨ

## 規制値の意味 情報発信を



榊田 尚樹

国立保健医療科学院  
生活環境研究部長

ウ素<sup>131</sup>は検出されにくくなり、制限の解除も増えた。最近では半減期が長い同セシウムが露地栽培のシイタケや山菜、お茶などから検出されはじめた。土壌や水から吸収されたと考えられる。この間、政府は幅広く食品の緊急モニタリング（継続監視）を実施しており、流通している食品の安全は確保されている。

問題とは規制値の意味などに  
ついて、一般に必ずしも正しく認識されていないことだ。規制値は、それを上回る食品を一度たりとも摂取すべきではないという基準ではなく、長期間にわたり摂取した場合も考慮し、出荷制限など、住民を守るための措置をあらかじめ行うための目安だ。水道水で乳児向けの規制値（同ヨウ素<sup>131</sup>で1リットルあたり100ベクレル）を上回ったとき過敏な反応があつたが、乳児の水摂取を控えたならむしろ健康を害してしまつ。重要なのは、危険性の程度と日常生活とのバランスの取り方などの疑問に、行政や専門家が、かみ砕いた言葉で繰り返し情報を発信することだ。情報が共有され、それに基づき個人が判断し行動することでもリスクを低減することができる。

（談）

# 「100人の母乳」放射能調査

## 原発周辺と西日本、比較へ

東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、厚生労働省の研究班は今月下旬から、授乳中の母親約100

0人から母乳の提供を受け、含有する放射性物質について調査する。母乳は原発周辺県と西日本の居住者からそれぞれ提供を受け、結果を比較する方針。

調査は、福島、宮城、山形、栃木、群馬、茨城、千葉の各県と、西日本の一部で実施を予定している。各県で10〜20人程度から提供を受け、放射性ヨウ素と同セシウムを測定する。また、水道水や野菜などの食品の摂取状況や、被災後の生活について聞き取りをする。結果は、専門家が分析し、地域間のデータの比較や、食品に含まれる放射性物質の母乳への影響について詳細に調べる。

# 母乳から微量セシウム

省研究班  
厚研

## 福島県内の7人「心配ない量」

厚生労働省の研究班は7日、東京電力福島第一原発の事故を受け、福島、宮城など8県で実施した母乳に含まれる放射性物質の検査結果を発表した。授乳中の母親108人のうち、福島県内の7人から微量の放射性セシウムを検出した。研究班では、「大気や食品中の放射性物質の影響と考えられるが、母体、乳児とも長期的な影響も心配がない量。普段通りの生活をしてほしい」としている。

3日に福島、宮城、山形、茨城、栃木、群馬、千葉、高知の8県、108人から提供された母乳を調べた。事故の影響を調べるため、原発から離れた高知県も対象に含めた。

その結果、福島県相馬市、福島市、いわき市、二本松市の7人から母乳1㍉・㍉当たり1・9〜13・1㍉の同セシウムが検出された。同ヨウ素は検出されなかった。母乳には暫定規制値がないが、厚労省は、飲料水の規制値を参考に、同セシ

ウムは1㍉・㍉当たり20㍉を安全性の目安としており、これを大きく下回った。

放射性物質に汚染された母乳は大丈夫？ 研究班は「健康に影響ない」

2011.6.19 18:00

「国や市民団体の調査で東京電力福島第1原発周辺に住む母親の母乳から微量の放射性物質が検出されたそうですが、原発のある福島県以外の母親からも検出されているのでしょうか。また、調査結果の範囲ならば母乳を与えても赤ちゃんに健康被害はないのでしょうか」＝川崎市の女性会社員（36）

市民団体が調査

授乳中の母親の母乳から放射性物質の検出が明らかになったのは、市民団体「母乳調査・母子支援ネットワーク」が4月に公表した調査結果がきっかけだった。福島第1原発事故を受け、ネットワークでは3月23日～30日、福島、茨城など4県に住む女性9人の母乳を民間放射線測定会社で独自に分析。その結果、茨城と千葉の4人から1キロ当たり6・4～36・3ベクレルの放射性ヨウ素が検出された。

ヨウ素は甲状腺に蓄積され、甲状腺がんを誘発する可能性がある。成長期の細胞は被曝（ひばく）で傷を負いやすく細胞ががん化しやすいため、多くの授乳中の母親らは衝撃を受けた。

政府も母親らの不安に応え、厚生労働省に緊急調査を指示。4月下旬、福島、茨城、千葉、埼玉、東京の23人を対象に調べたところ、7人からヨウ素が2・2ベクレル～8・0ベクレル、うち1人から放射性セシウムも2・4ベクレル検出された。

当初、母乳には国の基準値がなかったが、厚労省は急遽（きゅうきょ）、ヨウ素は飲料水や牛乳の乳幼児用の基準値（1キロ当たり100ベクレル）を、セシウムは大人を含めた基準値（同200ベクレル）を安全性の目安とした。

厚労省はさらなる安全性の確認のため、5月18日～6月3日に専門家で構成する研究班による調査も実施。宮城や福島など8県の授乳中の女性108人を対象に調査した。

その結果、福島県相馬市、福島市、いわき市、二本松市の7人から1・9～13・1ベクレルのセシウムが検出されたが、安全性の目安を大きく下回ることから、研究班は授乳を続けても乳児の健康に影響はないと結論づけた。

「心配ないレベル」

研究班の代表を務めた国立保健医療科学院の櫻田（くぬぎ）尚樹生活環境研究部長は「放射性物質は大気中や食品、水道水から母体内に取り込まれたと考えられる」と説明。母親が経口で摂取したヨウ素とセシウムは平均それぞれ3～4割程度が母乳に移行するとされるが、「母体、乳児ともに過去にさかのぼった長期的な影響も心配がないレベル」と語る。

研究班の調査では、市民団体の調査で検出されたヨウ素は出なかった。これについて櫻田部長は、「環境中への放射性物質の放出が減少していることに加え、ヨウ素の放射能の量が半分になる半減期が、セシウムに比べて短いため」と説明する。

ヨウ素とセシウムの物質そのものの半減期はそれぞれ、8日間と30年間。しかし、人体に摂取され、体内での代謝や排泄（はいせつ）による減少を加味すると、ヨウ素は7日間、セシウムは80日程度で体内から半減するという。

原発事故の影響で大気中の放射線量がピークに達した3月15～16日以降、大きな放射性物質の放出はなく、食品などからヨウ素の検出が減る一方、半減期の長いセシウムが検出されるケースが増えている。

ただ、研究班は母乳から検出されたセシウムは「微量」としており、日本産科婦人科学会や日本医学放射線学会など関係6学会も6月8日、「わずかな放射線量よりも、母乳に含まれる子供の成長に役立つ成分の方がはるかに重要。授乳を続けても、子供の健康に影響することはない」とする見解を公表した。

一方、事故直後から希望者の母乳検査を実施している母乳調査・母子支援ネットワークは現在も調査を継続。これまでに約200人が検査を受けた。結果が公表されている100人のうち5人から5・5ベクレル～36・3ベクレルのヨウ素が、14人から4・2ベクレル～10・5ベクレルのセシウムが検出されている。

ネットワークの村上喜久子代表は「世界的に母乳と放射性物質に関する調査は少なく、微量だから安全という根拠はない。内部被曝の実態把握のためにも、原発周辺の自治体は母乳の調査をするべきだ」と訴えている。（長島雅子）

母乳から放射性物質が検出された例

母乳調査・母子支援ネットワーク(3月16日～5月27日採取)

母乳採取日	居住地	ヨウ素	セシウム
3月 23日	つくば市	8.7	—
	茨城県 守谷市	31.8	—
	つくば市	6.4	—
29日	千葉県 柏市	36.3	—
4月 22日	茨城県 土浦市	—	8.0
	福島市	—	5.1
	福島県 西白河郡	—	10.5
5月 5日	いわき市	5.5	—
	東京都 三鷹市	—	4.8
	世田谷区	—	6.5
10日	茨城県 日立市	—	5.3
	福島市	—	4.6
	福島県 郡山市	—	4.5
17日	福島市	—	6.5
	福島市	—	5.2
	八千代市	—	4.3
23日	千葉県 印西市	—	5.0
	—	—	4.2
24日	福島県 郡山市	—	4.6

(6月9日現在)

厚労省研究班調査(5月21日～5月30日採取)

母乳採取日	居住地	ヨウ素	セシウム
5月 23日	いわき市	—	1.9
	—	—	13.1
24日	二本松市	—	2.0
25日	福島県 福島市	—	9.6
	—	—	2.5
27日	—	—	2.0
28日	相馬市	—	2.0
	—	—	6.6
29日	—	—	—

※単位はBq/kg、—は不検出

5都県調査

# 母乳から微量放射性物質

## 厚労省「母子健康に影響なし」

厚生労働省は30日、福島第一原発の事故を受け、初めて実施した母乳に含まれる放射性物質の検査結果を

発表した。授乳中の母親23人のうち7人分から微量を検出したが、厚労省は「乳児、母体とも健康には影響

がない量で、普段通りの生活で問題ない」としている。

4月24、25日に福島、茨城、千葉、埼玉、東京の5都県計23人から提供された母乳を調べた。母乳には暫定規制値がないが、放射性ヨウ素は、飲料水や牛乳の

乳児用規制値（1キ・タ当たり100ベ）を、放射性セシウムは大人まで共通の規制値（同200ベ）を安全性の目安とした。

結果、7人から放射性ヨウ素が2・2と8・0ベ、うち1人から同セシウムも2・4ベ検出された。原発事故の影響とみられるが、いずれも安全性の目安を大きく下回った。

山下俊一・長崎大医歯薬学総合研究科長（被曝医療）の話「拡散した放射性物質は水や大気中から体内に取り込まれるので、母乳からしても問題はない」

読売新聞 2011年5月1日 朝刊 29ページ  
厚生労働省による調査結果に関する報道